

土木学会複合構造委員会 第14回幹事会議事録

1. 日 時：平成19年3月30日（金）13:00～16:40
2. 場 所：オリエンタル建設（株）福岡支店会議室
3. 出席者：上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，池田幹事，伊藤幹事，大山幹事，杉浦幹事，
武知幹事，中村幹事，西崎幹事，古市幹事，山口幹事，横田幹事，渡辺幹事，
川島事務局
オブザーバー：日野（九州大学）（敬称略，計16名）

4. 配布資料

- 資料 幹14-0 平成17,18年度 第14回（社）土木学会複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹14-1 土木学会複合構造委員会第13回幹事会議事録（案）
- 資料 幹14-2 幹事会業務分担（案）
- 資料 幹14-3-1 複合構造委員会内規細則改正(案)について
- 資料 幹14-3-2 土木学会複合構造委員会内規集（仮称）
- 資料 幹14-4-1 第10回複合構造物の性能照査指針小委員会議事録（案）
- 資料 幹14-4-2 維持管理小委員会活動報告
- 資料 幹14-4-3-1 「異種材料を用いた複合構造技術の最先端」講習会会告案
- 資料 幹14-4-3-2 新材料を用いた複合構造講習会行事計画書
- 資料 幹14-4-4 ISO対応特別委員会ユーロコード調査小委員会活動報告
- 資料 幹14-4-5 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会活動報告
- 資料 幹14-5 複合構造シンポジウムについて
- 資料 幹14-6 平成19年度全国大会研究討論会提案企画
- 資料 幹14-7 複合構造委員会予算実行状況
- 資料 幹14-8 平成19,20年度幹事会業務分担（案）

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶

開催にあたり上田委員長より挨拶があった。

(2) 第13回幹事会議事録（案）の確認（資料 幹14-1）

西崎幹事より，第13回幹事会議事録が確認され，了承された。また，第13回幹事会以降の経過として，以下が報告された。

- ① 川島事務局より，複合構造委員会内規改正案を3月23日(金)開催の理事会に提出し，承認されたことが報告された。
- ② 大山幹事より，独日橋梁シンポジウムの開催日程が7/30,7/31,8/1の3日間に決定したことが報告された。
- ③ 上田委員長より，複合構造委員会が応募した平成19年度重点研究課題（研究助成金）は，不採用となったことが報告された。
- ④ 武知幹事より，複合構造レポート01「先進複合材料の社会基盤施設への適用」が2/16に発刊されたことが報告された。

(3) 性能照査指針小委員会活動報告（資料 幹14-4-1）

中村幹事より、性能照査指針小委員会の活動が報告され、以下が確認された。

- ① 鋼材の材料係数を調査した結果、小委員会では 1.05 を提案することを検討している。鋼材の材料係数の検討では、「供試体と構造物中の材料特性の差異」に注目している。これに関連して、次回小委員会に伊藤幹事に出席していただくことが確認された。
- ② 性能照査指針（標準示方書）は、2008 年度の発刊を計画している。複合構造委員会において 2 回の審議を踏まえると想定して、2007 年 12 月の複合構造委員会に提出できるように、当面の工程を設定したことが報告された。

(4) 現状調査小委員会活動報告

伊藤幹事より、現状調査小委員会の活動が報告された。

- ① 9A,9B の改訂作業は、9A を現行版よりもやさしい内容にすることや、9B に設計例を盛り込むことなど、全体構成の見直しを検討している。
- ② 2008 年 2 月に最終原稿としてまとめるため、第 1 回の複合構造委員会に初案を提示したい。

(5) 維持管理小委員会活動報告（資料 幹 14-4-2）

杉浦幹事より、維持管理小委員会では具体的な活動内容を検討中であると報告された。

(6) 新材料による複合構造技術研究小委員会活動報告（資料 幹 14-4-3-1, 資料 幹 14-4-3-2）

上田委員長より、新材料による複合構造技術研究小委員会の活動が報告され、以下が確認された。

- ① 「新材料を用いた複合構造に関する調査報告書」は、出版委員会からの興味が湧くような書籍名を検討して欲しいという要請に応じて、「異種材料を用いた複合構造技術の最先端」に改称することが確認された。
- ② 「異種材料を用いた複合構造技術の最先端」に対する幹事 2 名の査読の結果、大きな修正事項はなかった。
- ③ 小委員会では 5 月中旬の入稿まで時間があることから、複合構造レポートではなく複合構造シリーズとして発刊したいと考えている。そのため、既に実施した幹事 2 名の査読のほかに、各幹事の査読と、複合構造委員会委員への意見照会の実施が提案された。この提案に対して、査読や意見照会に対する修正が可能であれば複合構造シリーズとして発刊し、間に合わなければ複合構造レポートとして発刊することが確認された。
- ④ 「異種材料を用いた複合構造技術の最先端」に関する講習会の計画について確認された。
- ⑤ 今後は、これまでの調査結果から問題点や課題を抽出し、具体的な活動内容に対する議論を進めることとなった。

(7) ISO 特別委員会ユーロコード調査小委員会活動報告（資料 幹 14-4-4）

大山幹事より、欧州視察報告について説明された。また、2007 年度の活動計画は、5/10 の小委員会で検討されることが報告された。

(8) FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会活動報告（資料 幹 14-4-5）

山口幹事より、FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会の活動が報告された。

また他の小委員会にも共通することであるが、「指針」、「マニュアル」など規準類を指す言葉の使い方や、作成の取扱いについて整理する必要があるという意見が出された。

(9) FRP 複合橋梁小委員会活動報告

西崎幹事より、FRP 複合橋梁小委員会の活動が報告された。

(10) 複合構造シンポジウムについて（資料 幹 14-5）

古市幹事より、複合構造シンポジウムの計画が説明された。

- ① 概略スケジュールの 11/9 において建築だけのセッションを設置しているが、投稿数によっては、土木との合同セッションとする可能性がある。
- ② 役割分担および準備工程を設定した。確認事項は幹事会で順次決定させて、7 月中旬には全項目を決定する。それぞれの担当者で随時進めてもらう。

- ③ 論文締め切りを 9/28 と設定したが、取りまとめの時間や他行事を考慮して 9/10 頃に変更する。
- ④ 予算案は、現時点では余裕のない状態となっているが、各担当から必要な金額を出してもらい、調整を行なう。海外からの招聘者の旅費および宿泊費は自己負担とするが、参加費等は免除する予定である。海外からの参加者に対しては、他委員会の協力を期待したい。
- (11) 全国大会研究討論会について（資料 幹 14-6）
西崎幹事より、研究討論会の企画提案が説明され、以下が確認された。
- ① 横田幹事、中村幹事、渡辺幹事に話題提供をお願いすることが確認された。
- ② 上平委員に話題提供をお願いし、既に了承を得ている。
- ③ 討論会の日時は 5 月上旬に決定する予定である。
- (12) 複合構造委員会予算執行状況について（資料 幹 14-7）
川島事務局より、予算執行状況が説明され、確認された。
- (13) 幹事会業務分担案について（資料 幹 14-2、資料 幹 14-8）
平成 19,20 年度幹事会業務分担案が説明され、以下が確認された。
- ① 資料に示した業務分担案は第 1 次案であり、現状調査小委員会の連絡幹事については、再検討する。
- ② 委員会の開催日程は、7/5 および 1/17 に仮設定した。幹事会開催日程は、第 1 回幹事会（6/14）で協議する。
- (14) 複合構造委員会内規細則改訂について（資料 幹 14-3）
川島事務局より、複合構造委員会内規細則の改正案について説明され、以下が確認された。
- ① 細則改正案は最新の内規に整合するようにまとめた。不都合があれば委員会承認によって改正する。
- ② 複合構造委員会運営細則について
- ・ 第 1 条：『趣旨』は『目的』に変更する。
 - ・ 第 3 条（4）：『委員長もしくは』を削除する。
 - ・ 第 4 条：『常設小委員会』の名称を変更し、（4）以降を削除してより簡潔な記述に修正する。
- ③ 「複合構造委員会運営細則」、「複合構造委員会委員長候補者選考細則」および「複合構造委員会による土木学会各賞等の候補推薦細則」の上記修正版を平成 17,18 年度幹事会にメールにて連絡し意見を徴す。
- (15) その他
- ① 委員会で管理している 2 書籍のうち、英文指針は国際連携小委員会で、性能照査例は照査指針小委員会で活用することが確認された。
- ② 性能照査例講習会での Q&A は、幹事会にメールでの確認後、複合構造委員会のホームページに掲載することが確認された。
- ③ ホームページに関して、FRP 複合橋梁小委員会および複合材料による補修・補強小委員会は、ホームページ担当委員を選出し、山口幹事に連絡することとなった。

以上（記録・文責 武知 勉）